

沖縄シュゴンのすむ海のこと

「辺野古の埋め立てストップ! シュゴン保護区を」
—日本自然保護協会 安部真理子さんのお話—

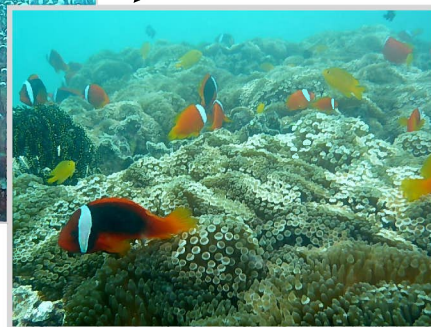


絶滅の危機の沖縄シュゴン
環境破壊、生息域の減少
米軍新基地建設計画
今、私たちにできることは…



大浦湾のアオサンゴ群集

生物多様性の
豊かな海



クマノミ城

日時：2014年3月30日(日)13時半～15時 (13時開場)

場所：豊中市立環境交流センター

講師：安部真理子さん 日本自然保護協会

資料代：大人1000円 高校生以下500円

問合せ先：シュゴン保護キャンペーンセンター・関西事務所

TEL/FAX 06-6353-0514 メール info@sdcc.jp

※同じ会場で、15時からSDCC総会を開催します。引き続きご参加お待ちしております。



◆講師プロフィール 安部真理子さん

日本自然保護協会 保護・研究部。大学・大学院にて生物学と生化学を専攻し、WWF ジャパンに8年間勤務。オーストラリアのジェームズクック大学院修士課程に留学し、続いて琉球大学博士課程にてアザミサンゴの多様性に関する研究で博士号(理学)を取得。1997年に日本国内でのリーフチェック立ち上げに関わった一人であり、以来コーディネーターをつとめている。沖縄リーフチェック研究会会長、日本サンゴ礁学会評議員、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会理事。現職、日本自然保護協会では2010年4月より沖縄の問題や日本の沿岸の問題を担当している。

会場アクセス



★日本自然保護協会は 日本の自然の仕組みを調べ、守り、その意味と価値を社会に広める活動を半世紀以上行ってきました。暮らしを支える日本の自然の豊かさ=生物多様性を現場の知識と実行力で、日本の自然を守る。それが日本自然保護協会です。 <http://www.nacsj.or.jp/>

★SDCCはIUCN世界自然保護会議で採択された沖縄シュゴン保護の勧告を実現するために設立。辺野古・大浦湾は生物多様性の宝庫、シュゴンの大切な生息域です。『基地ではなく シュゴンの保護区を』と取り組んでいます。 <http://www.sdcc.jp/>

阪急「曾根駅」から北へ徒歩5分
阪急「岡町駅」から「曾根駅」途中の
高架下、萩の寺公園の向いです。

主催：シュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)